

中南地区統合校における校歌、校章及び制服の方向性について

1 校歌

(1) 黒石高校及び黒石商業高校の校歌

黒石高校	黒石商業高校
<p>■ 昭和25年11月3日制定 作詞：清藤 功（黒石高校国語科教員） 作曲：明本 京静（黒石市出身：作曲家）</p> <p>一、水清き教えの庭に 師の君と友は相寄り 浅瀬石の流れとつきぬ とこしえの真理求めて 此処に立つ吾等が母校 われら黒石高校生</p> <p>二、津軽野に高津鳥鳴けば 若人は希望に燃えて 身を鍛え心をみがき 羽ばたかん春を待ちつつ 此処に立つ吾等が母校 われら黒石高校生</p> <p>三、学び舎の行き交う道に 眉あげて友と仰げば 岩木嶺は問わず語らず 巖として鑑の如し 此処に立つ吾等が母校 われら黒石高校生</p>	<p>■ 昭和49年10月12日制定 作詞：清藤 碌郎（旧尾上町出身：詩人） 作曲：本間 雅夫（深浦町出身：作曲家）</p> <p>一、霊峰岩木の緑映え 津軽の里に未来あれ 樹てよ青春の厳しさを 育て青春の慈しみを 抱け友情の喜びを ああ黒商 ああ黒商 われらが母校</p> <p>二、連峰甲田に茜さし 仰ぐ心の寛くあれ 満たせ青春の夢高く 磨け青春の技術と道 燃やせ情熱の灯を ああ黒商 ああ黒商 われらが母校</p>

(2) 校歌制定の方法（他県等の事例から）

- ① 公募による制作
- ② 作曲家等への委託による制作
- ③ 学校関係者等による制作
- ④ 変更せず統合対象校の校歌を使用
- ⑤ 変更せず統合対象校の校歌をそれぞれ第一校歌、第二校歌として使用
- ⑥ その他

(3) 中南地区統合校における校歌の方向性

- ① 校名が「黒石高校」となった場合の対応について
- ② 校名が「(新元号)＋黒石高校」となった場合の対応について

2 校章

(1) 黒石高校及び黒石商業高校の校章

黒石高校	黒石商業高校
<p>■ 昭和23年4月1日改正 作：不詳</p>  <p>校章の由来：新しい時代を誠実真摯に生きることを願い、全ての飾りを除き、校名のみをもって、羽ばたく大鳥を模した。新制になり男女共学となった昭和23年制定。</p>	<p>■ 昭和48年12月26日決定 作：乙竹 景文（宮城教育大学教授）</p>  <p>校章の由来：デザインは、黒石の石の文字を図案化したものを3つ組み合わせ、「自戒・慈愛・寛容」の基本信条の一体化を表わしている。 ▽内の翼の棒は、商業・交通伝令神といわれるヘルメス（Hermes ギリシャ）・マーキュリー（Mercury ローマ）の持つ杖で、K・C はそれぞれ Kuroishi Commercial のイニシャルをとり、商業高校を象徴している。 全体にシンメトリックな逆三角形で、端正、気品を保ちながら、ダイナミックな回転運動感にその求心的充実と遠心的発展を表わし、直線的構成を主として近代感覚を強調したものである。</p>

(2) 校章制定の方法（他県等の事例から）

- ① 公募による制作
- ② デザイナー等への委託による制作
- ③ 学校関係者（生徒含む。）等による制作
- ④ 変更せず統合対象校の校章を使用
- ⑤ その他

(3) 中南地区統合校における校章の方向性

- ① 校名が「黒石高校」となった場合の対応について
- ② 校名が「(新元号) + 黒石高校」となった場合の対応について

3 制服

(1) 黒石高校及び黒石商業高校の制服

黒石高校	黒石商業高校
<p>■冬服</p> 	<p>■冬服 (※儀式的行事の際は紺のネクタイ)</p> 
<p>■夏服</p> 	<p>■夏服 (儀式的行事)</p> 
	<p>■夏服 (普段)</p> 

(2) 制服選定の方法 (他県等の事例から)

- ① 学校関係者 (生徒含む。) 等によるデザインの選定
- ② 変更せず統合対象校の制服を使用

(3) 中南地区統合校における制服の方向性

- ① 校名が「黒石高校」となった場合の対応について
- ② 校名が「(新元号) + 黒石高校」となった場合の対応について

4 中南地区統合校の校歌、校章、制服の方向性

	黒石高校の場合	(新元号) 黒石高校の場合
■校歌の方向性		
■校章の方向性		
■制服の方向性		
■その他		